

としょかん南アルプス



南アルプス市立図書館通信 No.36 2017年6月1日発行 <http://m-alps-lib.e-tosho.jp/>

6月に入り、さくらんぼがかわいい実をつけはじめました。図書館では蔵書点検が始まり、白根桃源図書館（6日～9日）・わかくさ図書館（13日～16日）・中央図書館（22日～30日）の3館で臨時休館します。利用者みなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

南アルプス市議会 議長 西野浩蔵 にの こうそう

子どもの頃から、本を読むことが好きでしたが、本格的に読み出したのは20代の後半です。特に山岡荘八の『徳川家康』は、新刊が出るたびに待ちわびて購入したものです。読み始めると、時間を忘れ朝方まで一気に読んでしまったこともあります。

また、司馬遼太郎の『竜馬がゆく』にも深い感銘を受けました。幕末という時代を、挫折しながらも信念を持って生きる主人公の姿に自身を重ね、勇気を得たことを思い出します。後に、高知県桂浜にある「坂本龍馬記念館」を訪ねたときには、実際に竜馬が持っていたという展示物を見て、胸が熱くなりました。

書店にも、家族で定期的に行きます。「本屋大賞」で話題になった本、和田竜の『村上海賊の娘』もそんな機会に購入したお気に入りの1冊です。また、データが豊富な経済書も、若い頃から興味がありいつも選んでいます。



〈市議会議長室にて 西野議長〉

私が出会った本

『徳川家康』 山岡荘八/著
『竜馬がゆく』 司馬遼太郎/著
『村上海賊の娘』 和田竜/著

お気に入りの作家

陳舜臣（ちん・しゅんしん）

1924～2015年。兵庫県生まれ。大阪外国語大学印度語科卒業。『青玉獅子香炉』で直木賞、『諸葛孔明』で吉川英治文学賞受賞。他に、『琉球の風』『チンギス・ハーン一族』など著書多数。

紹介したすべての本は市立図書館で所蔵しています

現在は市議会議長という重責を担っています。議会運営のなかでは、重要な判断が求められることが多くあります。その時に、私を支えてくれるのが、若い頃からの習慣である読書から得た知識です。そして、それをもとに、政治的視野を広く持った正しい判断ができているのか、自問自答を繰り返しています。

7月には議員の調査研究を助けるための市議会図書室の改装が終了します。調査用の机にも独立したブースを設け、環境を整える予定です。この場所を議会活動の拠点とし、様々な政策を生み出し、南アルプス市がますます発展するよう努めていきたいと思っています。

私の読書歴

第2回

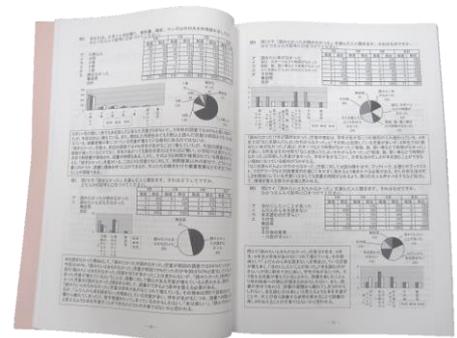
「ひろげよう子どものせかい」を発行

— 子どもの読書活動推進計画(第3次) —

南アルプス市では、未来を担うすべての子どもたちが、読書する楽しみ、喜びを実感し、自主的に読書をおこなうことができるよう、また、家庭・地域・学校等が連携を図りながら、積極的に子どもの読書活動に取り組めるよう「子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

今回の計画は、第1次(平成19~23年度)・第2次(平成24~28年度)の成果と課題をふまえた、第3次(平成29~33年度)の策定です。このために、平成27年度より「子どもの読書活動に関するアンケート」「市内読書施設に関するアンケート」「ブックスタートに関するアンケート」を実施し、回答結果を分析し、子どもの読書活動推進協議会で検討を重ねてきました。

南アルプス市では、これからの5年間この計画をともに、「いつでも・どこでも・だれでも」読書を楽しむことができる環境をめざし、さまざまな取り組みをおこなっていきます。



＜アンケートの分析結果・考察＞



＜アンケートの集計作業のようす＞



子どもにとっての読書とは？

言葉を学んだり、想像力を高めたりする原動力となり、豊かな生活体験を与えてくれます。また、読書から知り得た世界は、創造性や生きる力の基本となります。そしてそれらは、子どもの豊かな心を育み、健やかな成長を促すための起因となり、極めて重要な役割を果たします。

南アルプス市立図書館ホームページ (<https://m-alps-lib.e-tosho.jp/>) でご覧いただけます。



ライライのクリアファイル

図書館行事に参加された方へプレゼント！

図書館マスコットキャラクター「ライライ」のオリジナルクリアファイルをつくりました。

「おはなし会」「朗読会」「講演会」など図書館の行事に参加された方に、プレゼントしています。

ファイルの表面が透けているので、中の書類が確認できてとっても便利と大好評です。実用性抜群！何枚あってもうれしいクリアファイルを、ぜひあなたのお手許に！